

## 한통련 뉴스레터

제38호

発行:在日韓国民主統一連合（韓統連）

〒110-0016 東京都台東区台東4丁目31-7-302 電話/FAX 03-4362-5284

メール [chuo@korea-htr.org](mailto:chuo@korea-htr.org) ホームページ <https://chuo.korea-htr.org/>

ニュースレター配信をご希望の方はchuo@korea-htr.orgまでご連絡ください。（メールにお名前をご記入の上、件名に「韓統連ニュースレター配信希望」とお書きください）

## 정세 情勢

## ●尹政権、南北関係改善に向け「大胆な構想」を提案…李明博政権の「非核・開放3000」の再版、韓米合同軍事演習は強行…朝鮮は拒否



光復節式典で演説する尹大統領

韓国政府は8月15日、ソウル・龍山の大統領室庁舎前で光復節（日本による植民地支配からの解放記念日）77周年記念式典を開催した。

尹錫悦（ユン・ソンニョル）大統領は演説で、「北朝鮮（※正しくは朝鮮、以下同じ）の非核化は朝鮮半島と東アジア、そして全世界の持続可能な平和に必須のもの」だとし、「北朝鮮が核開発を中止し実質的な非核化へと転換するならば、段階に合わせて、北朝鮮の経済と民生を画期的に改善する大胆な構想を提案する」と述べた。

「大胆な構想」の内容としては、「北朝鮮に対する大規模食糧供給プログラム、発電所・送配電インフラ支援、国際貿易のための港湾と空港の発展プロジェクト、農業生産性向上のための技術支援プログラム、病院と医療インフラの発展支援、国際投資・金融支援プログラム」を羅列した。大統領室の金泰孝（キム・テヒョ）国家安保室第1次長は同日の記者会見で、「大胆な構想」に関し「政治と軍事部門の協力ロードマップ（行程表）も準備してある」と補足説明した。

尹大統領は就任から100日となる17日、大統領室庁舎で初の公式記者会見を行い、「大胆な構想」に言及しながら、朝鮮が核開発を中止すれば、朝米関係の正常化を含む外交的支援と通常兵

器の軍縮議論を行うと表明した。

今回の「大胆な構想」は、大統領就任式（5月10日）で明らかにした「大胆な計画」を具体化したものだが、朝鮮の非核化措置に合わせて韓国が経済支援を行う方案は、すでに失敗した李明博政権の「非核・開放3000」の再版といわざるを得ない。

そもそも、南北共同宣言と朝米共同声明で明らかかなように、「朝鮮の非核化」ではなく「朝鮮半島の非核化」であり、「先非核化」ではなく「朝鮮半島の非核化と平和体制構築の同時履行」である。また、朝鮮が敵視行為として中止を求める韓米合同軍事演習が、「大胆な構想」の提案時にはすでに「乙支フリーダムシールド」として、22日から規模を拡張して実施することが決定されている。さらには、金正恩（キム・ジョンウン）国務委員長（朝鮮労働党総書記）は戦勝69周年記念式（7月27日、朝鮮戦争停戦協定締結日）の演説で、朝鮮の核・ミサイルへの対応能力拡充に動く尹政権を名指しで批判している。

結局、金与正（キム・ヨジョン）党副部長が19日の談話で、「大胆な構想」について「愚かさの極地」と非難したうえで、「絶対に相手にしない」と拒否する意思を明らかにした。「大胆な構想」はわずか4日後にはしぼんでしまった。

尹大統領の就任100日記者会見は、南北関係だけでなく他の分野も含めて、これまでの国政に対する診断とこれからの対策、失政に対する反省と謝罪がないまま自画自賛に終始した。尹大統領は「国民の応援も、厳しい叱責もあった。国民が心配しないよう最善を尽くして国民の意をくみ取りたい」と述べているが、具体性のない決意を繰り返すだけでは、支持率20%台の危機的状況を抜け出すことはできないだろう。

●610余団体が「韓日歴史正義平和行動」を発足…「日本の逆走行・韓国の付和雷同」にブレーキをかけなければ



「韓日歴史正義平和行動」発足式の模様

「日本軍性奴隷制問題解決のための正義記憶連帯（正義連）」、全国民主労働組合総連盟（民主労総）、韓国進歩連帯、全国民衆行動など全国610余団体が8月9日、ソウル市内で「歴史正義と平和な韓日関係のための共同行動（韓日歴史正義平和行動）」の発足式を開いた。

韓日歴史正義平和行動は朝鮮半島の平和と正義、市民の人権と生命安全を課題として運動してきた諸団体が結集し、歴史的過誤に対する反省を土台に、朝鮮半島と東アジアの恒久平和のために行動することを目的としている。発足宣言文では「韓日歴史正義平和行動は真実と正義、和解と協力、市民の安全と人権保障、違いを認め合う共存とすべての生命体の共生のために、韓日の市民が

共に行動する」と明らかにした。

全国民衆行動の朴錫運（パク・ソグン）共同代表は結成に先立ち開かれた代表者会議で、「歴史正義において巨大な後退と逆走行、反動が起こっている」「日本政府は韓国政府に問題解決策を示せと強要し、韓国政府は日本政府に物乞い外交をしている」と強調。日本の軍事大国化と改憲の動きに言及しながら、韓国が韓米日の軍事協力に一層組み込まれる危険性を指摘し、「韓日の平和を志向する市民・民衆が連帯してブレーキをかけなければならない」と主張した。

韓日歴史正義平和行動は以後、国民署名運動やキャンドル集会、地域懇談会、各政党代表との面談、国会との共同行動などを計画、展開するとした。

日本政府の強硬姿勢と尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権の「付和雷同」的な姿勢により、韓日間の歴史問題が政治決着されるのではと憂慮される中で、韓日民衆連帯で歴史正義を打ち立て、朝鮮半島と東アジアの平和を実現しようとの趣旨から、610余もの団体により韓日歴史正義平和行動が結成された意義は大きい。韓日歴史正義平和行動は韓日諸団体のさらなる参加を呼び掛けている。

■韓統連ホームページ、日々更新しています

韓統連ホームページでは、朝鮮半島情勢や私たちの活動予定・報告などを日々アップしています。また、公演や集会の写真、動画などは韓統連インスタグラム、韓統連ユーチューブチャンネルで配信しています。あわせてぜひご覧ください。

韓統連ホームページ

<https://chuo.korea-htr.org/>

韓統連ユーチューブチャンネル

[https://www.youtube.com/channel/UCg\\_8NZg52O1VTAMIGrXfqIQ](https://www.youtube.com/channel/UCg_8NZg52O1VTAMIGrXfqIQ)

韓統連インスタグラム

[https://www.instagram.com/korea\\_htr/?hl=ja](https://www.instagram.com/korea_htr/?hl=ja)



韓統連ユーチューブチャンネル



韓統連インスタグラム

## ●3年ぶりに祖国へ…「光復77周年韓統連・韓青母国訪問団」が自主平和統一大会に参加



大行進の先頭に立つ韓統連・韓青母国訪問団（13日）

韓統連は8月13日から15日にかけて、「光復77周年韓統連・韓青母国訪問団」を結成し3年ぶりに国内を訪問。13日にソウルで開催された「光復77周年8・15自主平和統一大会」に参加。尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権と直接対峙し、国内の同胞と共に「韓米合同軍事演習中止」「韓米日軍事協力反対」「南北合意実践」を力強く要求した。統一大会の主催は国内の100余の市民社会団体が結集した同大会推進委員会。推進委員会は大会開催までの期間、「全世界100ヶ所平和行動」を展開。世界中の人々から平和・統一にむけたメッセージ写真を募り、韓統連・韓青も積極的に参加した。

※詳細はこちらを参照 <https://815action.net/100peace>

母国訪問団は13日午前に結団式を行い大会の意義を共有した後、関連行事に参加。統一ピビンパブ作りや市民大会に参加した。14時30分より開始された自主平和統一大会では、主催者を代表し韓国キリスト教教会協議会（NCCK）のイ・ホンジョン総務が発言。「2018年板門店宣言とピョンヤン宣言、シンガポール宣言で確認した南北米首脳たちの平和への意志は、米中覇権競争の中で現れたインド太平洋戦略によって光を失おうとしている」と指摘。「戦争を呼ぶ対決政策を中止させ、停戦協定70年である2023年には終戦を宣言し、平和協定を締結しよう」と訴えた。ユン・フィスク進歩党常任代表やパク・ソグン全国民衆行動共同代表、イ・テヒョン祖国統一汎民族連合南側本部議長らが決議文を朗読。△韓米合同軍事演習中止と対話の即時再開△南北、朝米共同宣言履行△平和協定締結△朝鮮半島戦争基地化および米軍基地拡大反対△対日屈辱外交中断と韓日歴史正義の実現△日本の平和憲法改定反対および韓米日軍事協力中断を要求した。

※決議文は次ページ

大会後、龍山の大統領府前まで大行進を展開。韓統連訪問団は隊列の先頭に立ち行進を貫徹。行進中に主催者から韓統連訪問団が紹介され、参加者から大きな拍手で歓迎された。大会後開催された国内団体との交流会では、韓国進歩連帯、6・15合唱団、DMZ（非武装地帯）国際平和行進団などから熱烈な歓迎を受け、活発な交流が行われた。



青年学生大会で演説する韓成祐韓青委員長（13日）

また、青年学生部門では韓青が13日に光化門の米国大使館前で開催された「民族自主・反戦平和・祖国統一 南北海外青年学生大会」に参加。律動やノレ（歌）の公演、海外からの連帯メッセージ、各団体からの発言などで進行され、6・15日本地域委員会青年学生協議会を代表して韓成祐（ハン・ソンウ）

韓青中央委員長が連帯あいさつ。韓委員長は「南北海外青年学生の力を結集し、統一に向けて最後まで共に闘おう」と呼びかけた。南北海外共同決議文を同胞学生の尹琴淑（ユン・クムスク）さんが朗読し、全体の拍手で採択された。

訪問団は翌14日午前に解団式を開催。宋世一委員長は訪問事業を振り返り「国内の自主統一勢力と固く団結し、立派に闘っていくことができた。訪問団の目的は100%達成することができたといえる。今回の成果を今後の日本での運動の発展につなげていきたい」と評価。韓国進歩連帯のハン・チュンモク常任代表が連帯あいさつし「私たちは韓統連とは兄弟のようなつながりをもっている。今回の韓統連訪問団は、米国と尹錫悦政権に対して闘っていく決意を共有する場となった。統一する日まで共に進んでいこう」と訴えた。



結団式で集合写真（13日）

## 決議文

戦争の渦に全世界が影響を受ける中、朝鮮半島と東アジアもまた先鋭な軍事的対決状態が引き続いていっている。南北対話と朝米協議はすべて中断され、新政府は開始から北を「敵」と規定し、韓米合同軍事演習を拡大するなど強硬対決政策に没頭している。

現在の21世紀の前、世界を覆った帝国主義の侵略政策にきちんと対応できない間に、われわれは主権を喪失し、わが民族が光復を実現するまでに経験した苦痛はどうてい語りつくせない。今日、陣営間の対立を煽る米国の覇権政策に従い対中国・対北圧迫に没頭しては、戦争の危機を拡大し、この地の平和と主権をさらに危険にさらすのは火を見るより明らかだ。

この危機の時期、目覚めた市民と団結した民衆の力で敵対と対決を越え、この地の自主と平和、南北の和解と協力を必ず実現するとの意志を込めて、今日わたしたちは自主平和統一大会を開催し、各界の意志を集め次のように宣言する。

1. 敵視行為と軍事威嚇が新たな軍事行動をつくり出す悪循環が繰り返されている。相手方を抹殺してしまおうとする軍事威嚇と経済圧迫では平和を守ることはできない。敵視行為と軍事威嚇をすぐさま中止せよ！
2. 相手方の陣営を圧倒的な軍事力で焦土化し占領する内容の韓米合同軍事演習は、朝鮮半島の緊張を激化させる主犯だ。韓米政府は16日から実施される韓米合同軍事演習を中止し対話にすぐさま乗り出せ！
3. 平和と統一へと進む南北の里程標は南北共同宣言の合意にあり、朝米関係の正常化もまた2018年朝米共同声明の履行から出発しなければならない。南北、朝米共同宣言を履行せよ！
4. この地に根付いた戦争と分断体制は平和と民主主義、生存権を引き続き脅かしている。70年近く続いてきた朝鮮戦争を今こそ終わらせ平和協定を締結せよ！
5. 米国は朝鮮半島を対中国圧迫の前哨基地にしようとしており、星洲と済州、郡山と釜山、浦項と東豆村など、この地の各地を新たに基地と訓練場にと要求している。朝鮮半島の戦争基地化、米軍基地拡張に反対する！
6. 尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権は強制動員問題、日本軍性奴隷制問題の解決と歴史正義の回復を無視したまま、韓日関係の改善を拙速に推進し対日屈辱外交で一貫している。対日屈辱外交を中止し韓日歴史正義を実現せよ！
7. 日本の軍事大国化と平和憲法「改正」は東アジアの緊張を一層激化させている。日本の平和憲法「改正」に反対する！ 韓米日軍事協力を中止せよ！

目覚めた市民と団結した民衆の力で自主・平和・統一を成し遂げよう！

民主主義と生存権、平和が実現される新しい時代へと進み出よう！

2022年8月13日  
光復77周年8・15自主平和統一大会

## 写真で見る母国訪問団の活動



団結の夕べ（12日）



統一ピビンバ作り（13日）



青年学生決議文朗読（13日）



ユン・フィスク進歩党代表（左から2番目）と記念撮影（13日）



国内団体と交流会（13日）



ハン・チュンモク韓国進歩連帯代表のあいさつ（13日）



解団式（14日）



尹美香（ユン・ミヒャン）議員（左から5番目）と記念撮影（14日）

## ●兵庫本部が8・15母国訪問団報告会を開催…全体で成果を共有



報告する李俊熙事務局次長

韓統連兵庫本部は8月21日、「光復77周年韓統連・韓青母国訪韓団」兵庫報告会を神戸市内で開催した。崔孝行（チュ・ヒョヘン）代表委員が主催者あいさつ。「兵庫本部から訪問団に4名が参加し、大きな成果があった。訪韓事業の成果をみんなで共有しよう」と述べた。

自主平和大行進の映像資料を紹介後、崔代表委員が情勢報告。22日から行われる韓米合同軍事演習の危険性や、大統領就任直後から支持率が低下した尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権の本質を解説した。

母国訪問団の報告では李俊熙（イ・チュニ）事務局次長が、訪問団の活動内容や交流の様子を映像で紹介。尹元壽（ユン・ウォンス）顧問は訪問事業を振り返り「3年ぶりの訪韓事業で韓統連の役割を立派に果たすことができた」と語った。李善明（イ・ソンミョン）副代表委員が閉会あいさつした。その後交流会を開催し、参加者の労をねぎらった。

## ●米国大使館前で韓米合同軍事演習に抗議…韓青委員長が力強くアピール



韓成祐韓青委員長によるアピール

8月22日、同日より開始された韓米合同軍事演習に反対する抗議行動が米大使館前で行われ、韓統連・韓青も参加した。主催は「資本主義を超える新しい時代を拓く反戦実行委員会」。

実行委員会の主催者挨拶後、国内から民主労総のキム・ウニョン副委員長（統一委員長）がオンラインで連帯あいさつ。キム副委員長は先月勝利したサンケン労組の闘いへの支援に感謝を述べた上で、今回の合同軍事演習について「原子力空母

が動員され、朝鮮への上陸、首脳部の壊滅まで想定された、極めて危険な戦争演習だ」と批判。

「戦争を絶対に許してはいけない。民主労総はこれからも朝鮮半島、東アジアの平和構築に向け役割を果たしていく」と決意を述べた。

韓青中央本部の韓成祐（ハン・ソンウ）委員長がアピール。韓委員長は「朝鮮半島では合同軍事演習を行うたびに朝鮮半島に戦争の危機が高まってきた。現在国内では毎日午後2時に光化門の米国大使館前に集まり、韓米合同軍事演習に反対する記者会見を行っている。韓青も8月13日にソウルで行われた南北海外青年学生大会に在日同胞青年を代表して参加し、民族自主・反戦平和・祖国統一を国内同志とともに叫んできた。これからも国内の仲間と気持ちを同じくしながら、韓米合同軍事演習反対・駐韓米軍撤収を力強く訴えていく」と主張した。

## 행사예정 行事予定

### 8月

#### 8.15母国訪問団報告会(東海)

日時：8月28日（日）午後2時～ 場所：愛知県青年会館3階 内容：光復節77周年韓統連・韓青母国訪問団報告 主催：韓統連愛知本部、韓統連三重本部 連絡先：090-3930-8815

### 9月

#### 韓統連セミナー(大阪)

日時：9月11日（日）午後2時～ 場所：KCC会館 内容：シリーズ「ウリ現代史セミナー2022-過去史を見つめなおし、その正しい清算のために」第2回「統一か基地国家か」 主催：韓統連大阪本部 連絡先：06-6711-6377